

## かなざわ森沢山の会

# 竹炭

竹林の手入れの副産物を生かして、竹炭焼きをしています。

### 竹炭の効用

竹炭は多孔質で、吸湿効果や臭いの吸着力にも優れています。成分を見ると、ケイ酸基とカリウム基がバランス良く含まれていて、灰分、ナトリウム、カルシウム、鉄のようなミネラルも豊富です。

また、水に溶け出しやすい成分も含まれています。

これらの特性を利用して、竹炭は燃料用よりもむしろ、脱臭・調湿といった生活環境改善の目的や、土壌改良・微生物の活性化のような農業や園芸用に、そして食品の鮮度保存など、その効用は広範囲にわたっています。

### 利用範囲と利用方法

- ・敷炭・調湿用：竹炭には湿気を吸収し、乾燥してくると湿気を放出する働きがあるので、床下に敷き詰めて使う事もあります。
- ・汲み置きの水に竹炭を入れると、カルキ臭や不純物を吸着し、ミネラルを放出するので、腐敗を防ぎ、水が美味しくなります。この場合、竹炭をよく洗い、水1ℓに竹炭100g<sup>㊦</sup>くらいの割合で使います。
- ・ご飯を炊く時に、竹炭をいれると、ご飯が美味しく炊けます。竹炭をよく洗い、米2～3合に竹炭100g<sup>㊦</sup>くらいの割合で使います。
- ・置炭：脱臭作用があり、部屋・冷蔵庫・下駄箱等の悪臭除去に使えます。
- ・農業・園芸用では、土壌にまいて、土壌改良・微生物活性化を促し、植物の成長を助けます。
- ・生け花の活性化、食品の鮮度保持にも役立ちます。

## かなざわ森沢山の会

# 竹酢液

竹酢液は、竹炭焼きの副産物です。炭を焼く窯から出てくる煙を集め、冷却して採取します。何倍かに水で薄めて使います。

### 利用範囲

竹酢液は、主に農業・園芸用として幅広く利用されています。微生物を活性化し作物の養分の吸収を高め、成長をはやめたり色艶を良くする働きがあります。でも、重要なことは用途にあった希釈濃度で利用することです。

また病害虫の防除、臭い消し等、広範囲に利用されています。

### 利用方法

- ・植物の成長促進：300～1000倍を、15～20日おきに葉面散布します
- ・微生物を活性化：10～20倍を、土壌に散布します
- ・病害虫防除：20～200倍を、土壌に散布します
- ・生ゴミの臭い消し：30～40倍を、散布します
- ・ペットやタバコの臭い消し：50～200倍を、散布します
- ・生ゴミ処理時の醗酵促進：20～100倍を、散布します
- ・害虫や小動物の忌避：10～50倍を、土壌に散布します
- ・堆肥作りの醗酵促進：10～20倍を、散布します

### 注意

竹酢液は強酸性（PH・水素イオン濃度：2～3）です。お子様の手の届かない、冷暗所に保管してください。絶対に飲まないように、注意してください。